

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第4区分
 【発行日】令和5年6月26日(2023.6.26)

【公開番号】特開2022-183824(P2022-183824A)
 【公開日】令和4年12月13日(2022.12.13)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-229
 【出願番号】特願2021-91317(P2021-91317)
 【国際特許分類】

H 0 2 M 1/00(2007.01)

H 0 2 M 1/08(2006.01)

10

【F I】

H 0 2 M 1/00 E

H 0 2 M 1/08 A

【手続補正書】

【提出日】令和5年6月16日(2023.6.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

ゲート駆動形の半導体スイッチング素子に対して駆動回路によりゲート駆動信号を与えてオンオフの制御を行うゲート駆動装置であって、

前記半導体スイッチング素子の主端子間の電圧を検出し、オン駆動時に主端子間電圧が上昇に転じたことをもって前記半導体スイッチング素子の短絡状態を判定する判定回路(30、30a、30b、30c)と、

前記判定回路により前記半導体スイッチング素子の短絡状態が判定されたときに前記半導体スイッチング素子を遮断する制御回路(20)とを備えたゲート駆動装置。

30

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項1に記載のゲート駆動装置は、ゲート駆動形の半導体スイッチング素子に対して駆動回路によりゲート駆動信号を与えてオンオフの制御を行うゲート駆動装置であって、

前記半導体スイッチング素子の主端子間の電圧を検出し、オン駆動時に主端子間電圧が上昇に転じたことをもって前記半導体スイッチング素子の短絡時を判定する判定回路(30、30a、30b、30c)と、前記判定回路により前記半導体スイッチング素子の短絡状態が判定されたときに前記半導体スイッチング素子を遮断する制御回路(20)とを備えている。

40